

設問1

「理学療法士及び作業療法士法」における理学療法の定義において含まれない語句はどれか、1つ選べ。

A1	予防
A2	基本的動作
A3	治療体操
A4	電気刺激
A5	マッサージ

正解 A1

「理学療法士及び作業療法士法」第2条には「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう」と定義されています。

設問2

2018年に発出された「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」において、改正された内容で誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	総単位数の見直し
A2	臨床実習指導者の要件
A3	専任教員の要件
A4	修業年限は4年以上
A5	通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行う

正解 A4

修業年限は3年以上である。

設問3

国際生活機能分類(ICF)について誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	健康状態には、妊娠や加齢などの健康関連状態も含まれる。
A2	心身機能・身体構造とは基本的な生命あるいは生物レベルの要素である。
A3	活動は実行状況と能力の評価点が必要である。
A4	参加はそれぞれの人生における役割を果たしているかどうか観点となる。
A5	環境因子は背景因子と個人因子で構成される。

正解 A5

背景因子は環境因子と個人因子で構成される。

設問4

医療事故について正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	医療の全過程に発生する人身事故である。
A2	患者が廊下で転倒するなど、医療行為と直接関係しない場合は含まれない。
A3	医療従事者に被害が生じた場合は含まれない。
A4	医療現場において誤った医療行為などが患者に実施される前に発見できた場合も含まれる。
A5	理学療法中に起こることはない。

正解 A1

医療法に基づく定義では、提供した医療に起因し、または起因すると疑われる死亡または死産であつて、当該管理者が当該死亡または死産を予測しなかったものとされている。

設問5

理学療法として提供できる治療について正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	運動療法は理学療法における治療の大きな柱として重要な役割を果たす。
A2	運動療法は身体機能の正常化を目指す。
A3	運動療法には機能障害の予防は含まれない。
A4	マッサージは運動療法に含まれる。
A5	動作トレーニングは主に参加制約に対するアプローチである。

正解 A1

理学療法の目的は基本的動作能力の改善であり、身体機能の正常化を目指すものではない。マッサージは物理療法に含まれる。動作トレーニングは主に活動制限に対するアプローチである。